

2019年3月20日 第267号

憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター
〒113-8462 文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)
<http://www.kyodo-center.jp> mail: move@zenroren.gr.jp

総がかり行動「19日行動」

辺野古に基地は造れない！自然が声をあげている！

安倍 9 条改憲 NO! 憲法審査会始動させるな!

総がかり行動実行委員会・全国市民アクションは3月19日夜、国会議員会館前で「19日行動」を行い、3000人が参加しました。辺野古への土砂投入が続く中、18日、ジュゴン1頭の死亡が確認されました。環境破壊でもある土砂投入はただちに中止すべきです。市民と野党の共闘の力で憲法審査会を開かせないため3000万人署名を広げ、一つひとつの取り組みを大きく成功させていくこと、統一地方選挙、参議院選挙に勝利し安倍政権を退陣に追い込むことを確認しあいました。



国民民主党・津村啓介衆議院議員、社会民主党・福島瑞穂参議院議員、日本共産党・藤野保史衆議院議員、自由党・森裕子参議院議員、沖縄の風・伊波洋一参議院議員、立憲民主党・有田芳生参議院議員があいさつ。無所属・柚木道義衆議院議員、立憲民主党・初鹿明博衆議院議員、日本共産党・畑野君枝衆議院議員も参加しました。

総がかり行動実行委員会の福山真劫共同代表が主催者あいさつ。「安倍首相のモリカケ問題での政治の私物化、憲法9条、専守防衛を逸脱した軍事予算

を組んでいることなど大悪事を許すわけにはいかない。沖縄県民投票で民意が示されているのにさらに3月25日から新たな工区の埋立てを開始しようとしており許せない」と批判。「憲法審査会を開かせない、5月3日の憲法集会に10万人を集め、全国から憲法改悪反対のたたかいを広げたならば憲法改悪はできない。参議院選挙で立憲野党と市民が共闘すれば勝てる。安倍首相を引きずり下ろすことは可能だ。がんばりあおう」と呼びかけました。

辺野古新基地を造らせないオール沖縄会議の高里鈴代共同代表は「16日に開かれた沖縄県民大会の決議を持って防衛省・外務省へ要請に行ったが一顧だにしない。防衛省は、『活断層が存在するということはないから新基地は造れる。軟弱地盤でもアンダーコントロールできる。普天間基地の危険除去という県民の願いと政府の考えは共通している』」と言っていたが、日米安保の強化のために辺野古新基地建設が必要なだけだ」と指摘。「辺野古に基地は造れないと自然が声をあげている。

沖縄県民は明確にノーを示している。統一地方選挙、参議院選挙でそれぞれのところでしっかりと辺野古ノーを迫っていこう」と呼びかけました。

沖縄平和市民連絡会・北上田毅さんは辺野古土砂投入について「安倍政権は沖縄県民の民意を足蹴にする露骨なやり方を続けている。譲歩すればとん挫すると意地になってペースを落とさない」、MIC・南彰議長(新聞労連委員長)は官房長官の特定記者への扱いについて「一記者の問題ではなく、国民の知る権利、事実に沿った報道ができなくなるということであり、許してはいけない」と批判。学者の会・西谷修立教大学特任教授、女性差別撤廃条約実現アクション・柚木康子さんが発言しました。

行動提起を憲法共同センターの高橋信一憲法会議事務局長が行い、当面の行動として4月19日の「19日行動」、5月3日の憲法集会、3月25日の土砂投入抗議集会、4月24日の日韓連帯集会、6月7～8日の日韓連帯行動を提起。「3000万人署名を早期達成し改憲を阻止し、市民と野党が共闘し、統一地方選挙、参議院選挙で勝利して、安倍改憲を断念させよう」と呼びかけました。

●東京

19日から全都いっせい宣伝(～3/25) 各地域での実施呼びかけ

★東京共同センター 池袋駅で宣伝ウェットティッシュが大活躍

15歳男性「徴兵制になったら戦争に行くのは自分たち。安倍政権は怖い」



憲法東京共同センターは、全都いっせい宣伝(3/19～3/25までの1週間)の初日となる3月19日昼、3000万人署名宣伝行動を池袋駅東口で実施し、6団体17人が参加しました。45分間の宣伝で、3000万人署名が22筆寄せられ、署名ハガキ入りティッシュ120枚、ウェットティッシュ190枚を配布しました。憲法東京共同センターが作成したウェットティッシュが大活躍。振り返って「ください」と取りに来る方が多くいました。少ない人数で撒いても、受け取りがよかったのが特徴です。

ウェットティッシュを手に、「これもらっていいんですか?」と聞く15歳男性は、高校入学前の春休み。「徴兵制になったら戦争に行くのは自分たち。安倍政権は怖いです」と不安そうに話します。快く署名に協力してくれ、「はやく選挙権がほしいです」と言いました。

小さな子どもを抱きかかえる20歳女性は、弁士の訴えを熱心に聞いていました。弁士が、「武器や戦闘機に使う税金の使い方を変えれば、保育所をもっと増やせる」と訴えたのに共感し、署名してくれました。

憲法東京共同センターは、今日から1週間、都内主要駅頭や繁華街・商店街で宣伝行動を行うよう呼びかけています。

★文京 小学5年生も署名 若い世代こそ憲法大事

3月16日昼、青年や女性、労働組合など、幅広い団体・個人でつくる「文京アクション」は、後樂園駅前でも3000万人署名宣伝を実施しました。チラシ入りティッシュを300枚配布し、署名は20筆集まりました。

小学校5年生の男の子に、「小学生でも署名していいんで



すか？」と声をかけられました。男の子は、訴えを聞いて、「ほんとうに戦争になるのでは？」と不安になり、署名したいと感じたそうです。「家に帰ってお母さんお父さんに伝えます」と話しました。

やはり若い世代にとって憲法は、大事な問題。ティッシュの受け取りや署名してくれるのも、子連れや、小さいお子さんを持っている若い世代でした。

●京都

許すな！安倍「改憲発議」！ 東海道五十三次 いっせいアピール 弥次喜多も参加し三条大橋共同アクション

3月9日「マスコミ9条の会」などが安倍改憲ノー！3000万人署名を一斉アピールしようと、「東海道の各宿場町での宣伝行動」が呼びかけられ、48カ所で宣伝行動が企画されました。京都でも、憲法9条京都の会・京都革新懇や東海道の起点の三条大橋がある中京革新懇・中京アクションなどが「憲法9条京都の会・三条大橋共同アクション」を呼びかけ、賛同する多くの団体と個人が100人以上集まり、午前11時30分から三条大橋でアピール行動を行いました。



アピールには「京都映画人9条の会」が協力し、時代劇でおなじみの弥次さん喜多さんのちょんまげ姿に扮した俳優さんが参加。プロの俳優さんがその姿と声で、憲法9条を読み上げてアピールしたり、街頭インタビューやチラシをみんなと一緒に配るなど現代の平和な世の中を守るために大活躍しました。また参加者は、三条大橋の両側に分かれて横断幕を持ち、チラシ配布や署名をする中で、参加した各団体が道行く人にリレースピーチし、署名の協力を訴えました。

★当面の取り組み★

総がかり行動実行委員会等主催「辺野古土砂投入に抗議する3・25集会」

3月25日(月) 18時30分～ 日本教育会館8階 第一会議室

憲法共同センター「9の日」宣伝

4月9日(火) 12～13時 新宿駅西口

総がかり行動実行委員会・全国市民アクション「19日」行動

4月19日(金) 18時30分～19時30分 衆議院第二議員会館前・参議院会館前

憲法共同センター学習会 新「防衛計画大綱」と「中期防衛力整備計画」の問題点(仮題)

4月22日(月) 18時30分～20時30分 全労連会館2階ホール

日韓市民連帯集会実行委員会「4・24日韓市民連帯集会」(6月の日韓シンポ・プレ集会)

4月24日(水) 18時30分～20時 文京区民センター3A会議室

憲法共同センター「5・3憲法集会」成功に向けた大宣伝行動

4月27日(土) 14～15時 新宿駅東南口

5・3憲法集会

5月3日(金) 11時～ ミニステージ 12時～オープニングコンサート 13時～メイン集会
有明・東京臨海防災公園